

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により行います。
(当社ホームページURL <http://www.manac-inc.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部



〒721-0956 広島県福山市箕沖町92番地
TEL.084-954-3330 FAX.084-957-4370

<http://www.manac-inc.co.jp/>



第68期中間のご報告

株主通信

2012年4月1日～
2012年9月30日

マナックは、化学をベースに、技術と知識の融合により
先端技術産業が求める機能を開発・提供する
研究開発型モノづくり会社です。



証券コード: 4364



代表取締役社長 杉之原 祥二

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第68期中間期株主通信をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援とご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

当上半期の経営環境は、欧州債務問題を背景に景気の減速が中国など新興国に波及し輸出や生産が減少いたしました。また、円相場は高止まりしており、非常に厳しい事業環境でありました。

さて、当社グループでは現在「グローバル・マナック」というスローガンを掲げ、「売れモノづくり」「国際市場の開拓」「利益重視」の3つのテーマに取り組んでおります。

日本の多くの企業が為替リスクや人口の減少から生産、販売の拠点を海外にシフトし、化学業界も例外ではありません。

海外の拠点を足がかりとして世界に販売する、世界的サプライチェーンを構成する重要なメンバーとして、この製品ならばマナックだという確固たる地位を築く、これを実現するために研究・開発型企業として海外での人材確保も含め、国内・海外の区分を一切取り払った国際企業としての当社グループの姿を「グローバル・マナック」と銘打って掲げております。

当社を支えてくださる株主の皆様には、社員一同全力で取り組んでまいりますので、なお一層のあたたかいご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

化学業界におきましては、依然として厳しい状況の中、復興需要などを背景に生産や設備投資に持ち直しの動きがありましたが、円高の長期化、デフレの影響などにより先行き不透明な状況が引続いております。

このような状況の中で当社グループは、医薬分野や電子材料において新しいマーケットの開拓とニーズの発掘に積極的に取り組み、研究開発、生産活動など事業全般の改善を進めてまいりました。

この結果、第68期中間期の売上高は4,459百万円、営業損失は27百万円、経常利益は60百万円、四半期純利益は26百万円となりました。

セグメント別では、ファインケミカル事業の売上高は2,367百万円、難燃剤事業の売上高は1,506百万円、ヘルスサポート事業の売上高は585百万円となりました。

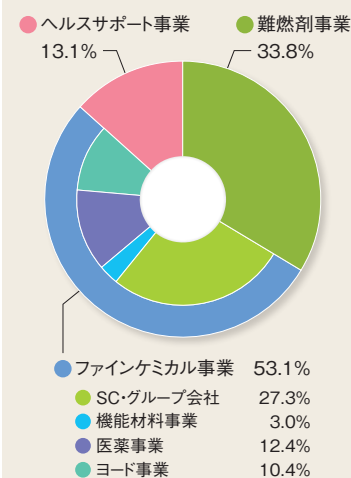
企業理念

『スペシャリティーケミカルをベースに
社会の進化・発展に貢献する』
～進化する技術、そして進化する人間をめざして

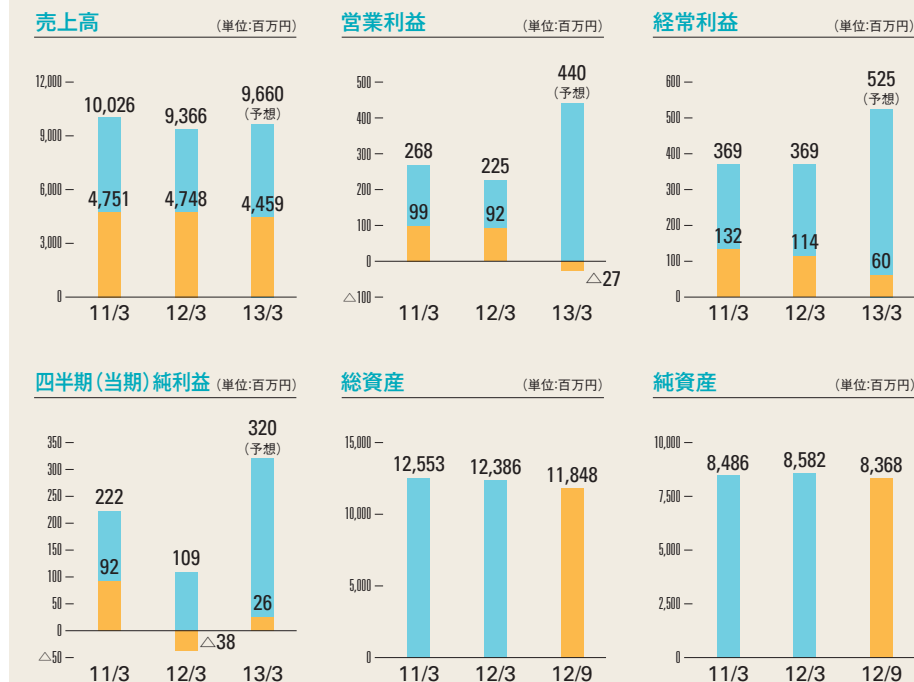
経営理念

- 1 「地球環境・人間社会に信頼と安全・安心・感動を発信する会社」をめざす
- 2 英知と勇気をもって能力を最高に発揮し、企業価値の最大化をめざす
- 3 明日の未来社会から注目される会社をめざし、常に『革新』

■ 事業別売上高構成比



■ 連結財務ハイライト



信頼と安全・安心・感動を発信する企業へ。

当社グループでは「グローバル・マナック」を実現するために、国際市場へ向けた技術の革新に挑み続けると同への取組みを進めています。今回は「マネジメント」「環境への取組み」「安全への取組み」「社会との関わり」の4

時に、企業の社会的責任を遂行するため、積極的にCSR 4つの分野に分けて、CSRの取組みをご紹介します。



「CSR報告書2012」を公開しました。

当社グループのCSRへの最新の取組み状況を紹介しています。WEBサイトのトップページ (<http://www.manac-inc.co.jp/>) より「CSRの取組み」をご覧ください。

「グローバル・マナック」として国際市場への展開を図るとともに、社会的責任を果たします。

『スペシャリティーケミカルをベースに社会の進化・発展に貢献する』という企業理念に基づき、最先端の「機能性化学品」の開発により世界に貢献します。同時に企業活動に伴う株主の皆様ならびに社会に対する責任を自覚し、常に様々なリスクを予め念頭に置いて事業活動を行うことによって、バランスの取れた成長をめざします。

当社グループでは、2011年度の中期経営計画より「グローバル・マナック」をスローガンとして3つのテーマを掲げました。私たちは国内・海外の区分を一切取りはらった国際企業としてのマナックの実現のため、努力を続けます。

Global MANAC

- 「売れモノづくり」
- 「国際市場の開拓」
- 「利益重視」

マネジメント

安全への取組み

マナックの
—企業の社

考えるCSR
会的責任—

環境への取組み

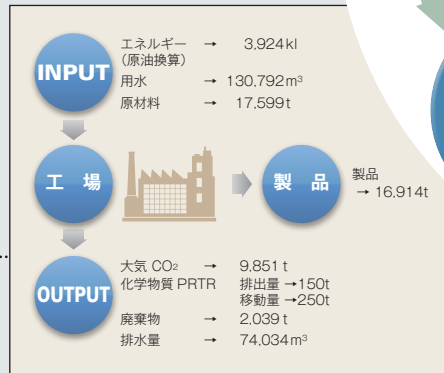
社会との関わり

地球環境保全のため、大気への排出抑制、省エネルギー、廃棄物の削減に取り組めます。

「マナック環境方針」に沿った環境への取組みを進めると同時に、国際規格「ISO14001」の認証を取得しています。

改正省エネ法(2010年)により「特定事業者」となり、省エネ推進を本格的にスタートしました。主力の福山工場は2006年度の改正から「第一種エネルギー管理指定工場」となっており、高効率な機器への更新や電力・燃料の使用量低減に取り組んでいます。

原材料やエネルギーなど何をどのくらい使用(インプット)し、大気への排出や廃棄物などをどのくらい排出・移動(アウトプット)しているかを定量的に把握することで、環境負荷の低減や地球温暖化防止対策の推進を図っています。



化学物質や物流の安全を徹底し労働災害ゼロをめざすと同時に、防災対策にも万全を期します。

各種法令を遵守し、製造時及び輸送時も含めた化学物質の安全な取扱いを徹底しています。また工場内及び周辺の保安・防災に努め、近隣も含めた万全の安全対策を策定しています。さらに自衛消防隊を編成し、地域の公設消防と連携し合同消防訓練も実施しています。東南海・南海大地震を想定した避難訓練も実施しました。

「イエローカード」は、万一の輸送中の事故に備え、物流安全指針に沿って運転手や消防・警察などの関係者が取るべき処置を記載した緊急連絡カードです。製造時だけでなく輸送時の化学物質の安全に対し、注意を喚起しています。



地域社会の一員として地元自治体や大学との連携を深め、地域の活動にも積極的に参加します。

一個の企業としてまたひとりの市民として、地域社会に溶け込みこれに貢献していきます。事業所周辺の清掃・不法投棄物の撤去や街灯の設置、中高生向けの科学振興のためのサイエンスラボ(福山大学)への協力、学生のインターンシップや中学生の就業体験の実施、スポーツ大会やイベントへの参加など、様々な形で実践しています。



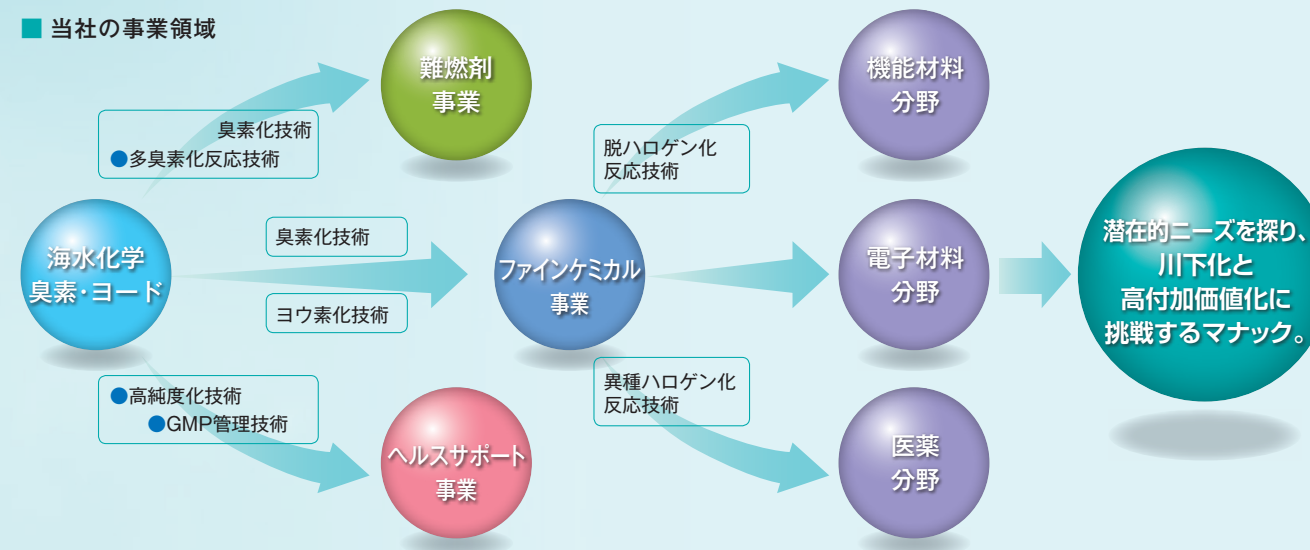
本社・福山工場では清掃日を設けて、工場に隣接する歩道などの清掃を実施しています。また福山箕沖団地協議会に参加し、街路灯の設置など環境改善活動に参加するほか、サッカー大会などで地元との親睦も深めています。

スペシャリティーケミカルをベースに 社会の進化・発展に貢献する

～進化する技術、そして進化する人間をめざして

スペシャリティーケミカルとは、電子・情報・医療といった先端技術産業が求めるニーズ機能を、化学技術を基にして提供する「機能性化学品」をいいます。
当社は、求められる化学品を単に受託製造するのではなく、それらに関連した情報を組み合わせることにより、オリジナリティーのある製品を提供し、世界への貢献を行います。

■ 当社の事業領域



■ 主な特徴・用途と戦略

➔ 難燃剤事業

□ 主な特徴・用途

高耐熱性、耐候性、精密部品に対応し優れた高機能難燃剤を開発、提供しております。

主な用途として、テレビ、ビデオ、オーディオ機器などの家電製品を中心に、近年では、パソコン、携帯電話などのIT関連機器、自動車などに用いられるプラスチックに添加されております。

□ 戦略

長年にわたって蓄積してきた開発技術、製造技術を駆使し、お客様の信頼に応え、市場の拡大をめざします。

➔ ファインケミカル事業

機能材料事業

□ 主な特徴・用途

パソコン、携帯電話、デジタルカメラなどのメモリーやIC素子の周辺材料、半導体の絶縁膜、コート材などに使用する機能性材料、電子材料などの化学素材を開発・製造しております。耐熱性や絶縁性に優れた特性を活かし、航空宇宙関連やその他の分野に積極的に用途開発を行っております。

□ 戦略

強化した生産・開発体制を駆使して、新たな機能材料の開発・供給を本格軌道に乗せ、マナックブランドと高付加価値を追求します。

医薬事業

□ 主な特徴・用途

多数の製薬メーカーの依頼を受けて原薬・中間体の共同開発や原料の供給を行っております。

中間体から原薬までの受託が可能な製造体制、充実した設備、品質管理体制を整え、事業拡大に向けた体制が整備されております。

□ 戦略

原薬製造プラント及び新機能開発設備の導入、更には新規開発品の拡大・企業化を視野に入れながら、自社技術の開発・充実を推進します。

ヨード事業

□ 主な特徴・用途

ヨウ素の有機化合物を中心に開発・製造・販売を行っております。

ヨウ素は、造影剤、殺菌、医薬品、電子材料、写真薬など非常に幅広い分野で利用されております。当社は複写機・プリンター・フラットパネルディスプレイに使用される中間体を中心に供給しております。

□ 戦略

柱となる製品群の拡大と新規製品開発により、国内市場・海外市場のシェアアップをめざします。

SC・グループ会社

□ 主な特徴・用途

近年デジタル化の急速な進展に伴い必要とされる素材の切り替わりがめまぐるしい、感光剤、情報記録材料、電子材料分野に、当社に蓄積された技術で高付加価値製品を提供しています。また、連結子会社である八幸通商株式会社とともに、戦略的アライアンスを進めております。

□ 戦略

連結子会社である八幸通商株式会社、南京八幸薬業科技有限公司を中心に、生産、販売に関するアライアンス戦略を進めます。

➔ ヘルスサポート事業

□ 主な特徴・用途

海水成分を活用した当社発祥の事業であります。製品としては、日本薬局方規格・日本工業規格に適合した塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化マグネシウム等を生産しております。

用途としましては、人工透析薬剤用原料及び試薬剤、食品添加物など医療・食品分野で使用されております。

□ 戦略

健康支援ビジネスの構築を推進し、川下製品の開発、事業化をめざします。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期末 2012年9月30日現在 | 前 期 末 2012年3月31日現在 | | 当第2四半期末 2012年9月30日現在 | 前 期 末 2012年3月31日現在 |
|-----------------|-------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | | 負債の部 | | |
| 流動資産 | 7,555 | 7,879 | 流動負債 | 2,907 | 3,084 |
| 現金及び預金 | 1,180 | 1,259 | 買掛金 | 1,291 | 1,235 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,835 | 3,051 | 短期借入金 | 903 | 946 |
| 有価証券 | 260 | 160 | 未払法人税等 | 24 | 96 |
| 金銭の信託 | 1,000 | 1,200 | 賞与引当金 | 130 | 140 |
| 商品及び製品 | 1,137 | 1,028 | その他 | 557 | 665 |
| 仕掛品 | 501 | 545 | 固定負債 | 572 | 719 |
| 原材料及び貯蔵品 | 407 | 387 | 長期借入金 | 261 | 333 |
| 繰延税金資産 | 158 | 121 | 役員退職慰労引当金 | 54 | 54 |
| その他 | 77 | 127 | 負ののれん | 60 | 81 |
| 貸倒引当金 | △ 2 | △ 2 | その他 | 195 | 249 |
| 固定資産 | 4,292 | 4,506 | 負債合計 | 3,480 | 3,804 |
| 有形固定資産 | 3,060 | 3,073 | 純資産の部 | | |
| 建物及び構築物 | 1,059 | 1,098 | 株主資本 | 8,592 | 8,605 |
| 機械装置及び運搬具 | 639 | 608 | 資本金 | 1,757 | 1,757 |
| 土地 | 1,146 | 1,146 | 資本剰余金 | 1,947 | 1,947 |
| 建設仮勘定 | 32 | 50 | 利益剰余金 | 5,130 | 5,144 |
| その他 | 182 | 168 | 自己株式 | △ 243 | △ 243 |
| 無形固定資産 | 2 | 3 | その他の包括利益累計額 | △ 224 | △ 23 |
| 投資その他の資産 | 1,228 | 1,429 | その他有価証券評価差額金 | △ 141 | 15 |
| 投資有価証券 | 854 | 1,030 | 為替換算調整勘定 | △ 78 | △ 48 |
| 長期貸付金 | 109 | 109 | 繰延ヘッジ損益 | △ 4 | 8 |
| 繰延税金資産 | 63 | 84 | 純資産合計 | 8,368 | 8,582 |
| その他 | 202 | 205 | 負債純資産合計 | 11,848 | 12,386 |
| 貸倒引当金 | △ 0 | △ 0 | | | |
| 資産合計 | 11,848 | 12,386 | | | |

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 当第2四半期(累計) 2012年4月1日から 2012年9月30日まで | 前第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,459 | 4,748 |
| 売上原価 | 3,687 | 3,851 |
| 売上総利益 | 771 | 897 |
| 販売費及び一般管理費 | 799 | 804 |
| 営業利益 | △ 27 | 92 |
| 営業外収益 | 114 | 64 |
| 営業外費用 | 27 | 43 |
| 経常利益 | 60 | 114 |
| 特別利益 | 0 | 0 |
| 特別損失 | 7 | 141 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 52 | △ 26 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 25 | 24 |
| 法人税等調整額 | 0 | △ 12 |
| 四半期純利益 | 26 | △ 38 |

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 当第2四半期(累計) 2012年4月1日から 2012年9月30日まで | 前第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 191 | 190 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 303 | △ 272 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 155 | △ 429 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 11 | △ 13 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △ 278 | △ 524 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,283 | 1,502 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,004 | 978 |

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCFは191百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益52百万円や減価償却費等の非資金項目143百万円等を調整したことなどによるものです。
投資活動によるCFは303百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得や有価証券の取得に使用したものです。
財務活動によるCFは155百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金の返済等によるものです。
これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首に比べ278百万円減少し、1,004百万円となりました。

■ 四半期連結株主資本等変動計算書 (2012年4月1日から2012年9月30日まで)

(単位：百万円)

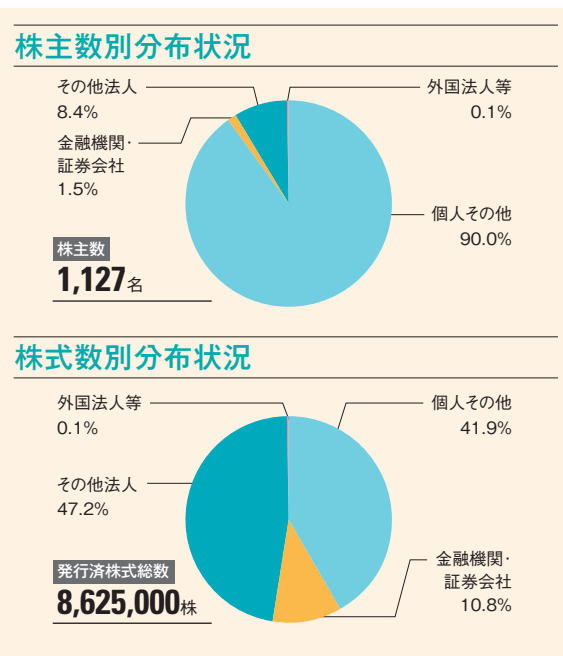
| | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 | |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------------|--------------|----------|---------|-------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 繰延ヘッジ損益 | | その他の包括利益累計額合計 |
| 平成24年4月1日残高 | 1,757 | 1,947 | 5,144 | △ 243 | 8,605 | 15 | △ 48 | 8 | △ 23 | 8,582 |
| 第2四半期累計期間中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 40 | | △ 40 | | | | | △ 40 |
| 四半期純利益 | | | 26 | | 26 | | | | | 26 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 0 | △ 0 | | | | | △ 0 |
| 株主資本以外の項目の第2四半期累計期間中の変動額(純額) | | | | | | △ 157 | △ 30 | △ 13 | △ 200 | △ 200 |
| 第2四半期累計期間中の変動額合計 | — | — | △ 13 | △ 0 | △ 13 | △ 157 | △ 30 | △ 13 | △ 200 | △ 213 |
| 平成24年9月30日残高 | 1,757 | 1,947 | 5,130 | △ 243 | 8,592 | △ 141 | △ 78 | △ 4 | △ 224 | 8,368 |

■ 株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数 23,200,000株
 発行済株式総数 8,625,000株
 株主数 1,127名
 大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------|----------|----------|
| 東ソー株式会社 | 1,608 | 20.0 |
| 財団法人松永育英奨学会 | 916 | 11.4 |
| 三菱製紙販売株式会社 | 607 | 7.6 |
| 株式会社広島銀行 | 322 | 4.0 |
| マナック社員持株会 | 270 | 3.4 |
| 杉之原 祥二 | 259 | 3.2 |
| 合同資源産業株式会社 | 200 | 2.5 |
| 日本生命保険相互会社 | 148 | 1.8 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 139 | 1.7 |
| 光和物産株式会社 | 121 | 1.5 |

(注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式が590千株あります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



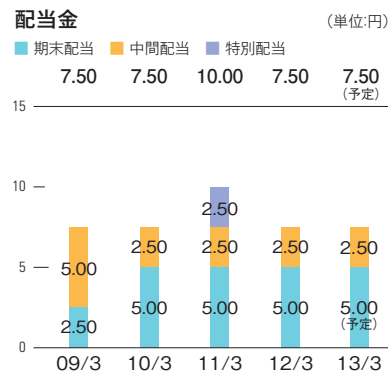
■ 配当関連情報

■ 当社の株主還元方針

利益配分につきましては、長期的観点から事業収益の拡大と株主資本純利益率の向上を図るとともに、自己資本の充実と財務体質強化、株主の皆様への長期的、安定的な配当水準の維持に努めながら、利益配当額を決定していく予定です。
 当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、中間配当については、取締役会、期末配当については、株主総会であります。

■ 第68期の配当金

第68期の中間配当金につきましては、1株当たり2円50銭とすることに決定いたしました。
 第68期の年間配当につきましては、期末配当金として予定している5円を加え、7円50銭を予定しております。
 内部留保資金につきましては、お客様のニーズに応える新製品・新技術開発のために必要な投資が出来るよう備えてまいり所存であります。



■ 会社概要 (2012年9月30日現在)

社名 マナック株式会社
MANAC INCORPORATED
 本社所在地 〒721-0956
 広島県福山市箕沖町92番地
 設立 1948年(昭和23年)5月
 資本金 17億5,750万円
 従業員数 183名(グループ従業員数329名)
 事業内容 難燃剤、医薬品、食品添加物、写真感光材料、高機能性材料、電子材料、染料、香料など様々な分野の先端技術産業に原材料を供給

■ 役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長 杉之原 祥二
 代表取締役専務 三道 克己
 常務取締役 村田 耕也
 取締役 北村 彰秀
 取締役 石井 潔
 取締役 大久保 俊司
 取締役 峰重 克己
 常勤監査役 日野 智章
 監査役 内海 康仁
 監査役 本田 祐二

(注) 1. 取締役 大久保俊司氏及び峰重克己氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 内海康仁氏及び本田祐二氏は、社外監査役であります。



工場全景



本社福山工場

■ 主な事業所

本社 〒721-0956
 広島県福山市箕沖町92番地
 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-957-4370
 東京支社 〒103-0027
 東京都中央区日本橋3丁目8番4号
 日本橋さくら通りビル6階
 TEL: 03-3242-2561 FAX: 03-3242-2564
 大阪営業所 〒541-0045
 大阪市中央区道修町1丁目4番6号
 ミフネ道修町ビル8階
 TEL: 06-6205-6771 FAX: 06-6227-5978
 福山工場 〒721-0956
 広島県福山市箕沖町92番地
 TEL: 084-954-3330 FAX: 084-953-8523
 郷分事業所 〒720-0093
 広島県福山市郷分町950番地の1
 TEL: 084-951-2501 FAX: 084-951-2502

■ 子会社

社名 八幸通商株式会社
 [100%出資子会社で南京八幸業業科技有限公司(中国・南京市)も連結子会社としております。]
 本社 〒103-0025
 東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番6号
 晴花ビル3階
 事業内容 化学薬品の製造、販売
 社名 エムシーサービス株式会社
 本社 〒721-0956
 広島県福山市箕沖町92番地
 事業内容 事務・物流業務の受託

■ 関連会社

社名 ヨード・ファインケム株式会社
 本社 〒104-0031
 東京都中央区京橋2丁目12番6号
 東信商事ビル7階
 事業内容 ヨード化合物の製造、販売